

静岡県社会福祉人材センターでは、県の委託を受けて、ホームヘルパーの仕事をもっと知りたい、働いてみたい、など、福祉の仕事に就職を希望する方の相談、職業紹介、斡旋を行っています。お気軽にお問い合わせください。

インターネットでも求人が閲覧できます!

FUKUSHI-JOB SEARCH
福祉のお仕事

福祉のお仕事 **検索**



社会福祉法人静岡県社会福祉協議会 静岡県社会福祉人材センターのホームページでは、「イベント」や「研修会」、「社会保険労務士相談」などの情報をご紹介します。

静岡県社会福祉協議会 **検索**

FUKUSHI-JOB SEARCH
福祉のお仕事 mobile

携帯およびスマートフォンの方は右記QRコードから福祉のお仕事モバイルページをご覧ください。

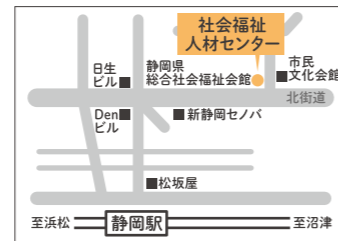


静岡県社会福祉人材センター

〒420-0856 静岡県静岡市葵区駿府町1-70
静岡県総合社会福祉会館シズウエル3階

TEL 054-271-2110 **FAX** 054-272-8831

月曜日～金曜日 8:30～17:00 ※土・日・祝日・年末年始はお休みです。



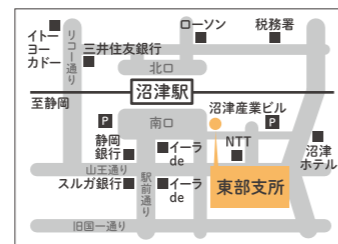
静岡県社会福祉人材センター 東部支所

〒410-0801 静岡県沼津市大手町1-1-3
沼津産業ビル2階 (旧沼津商連会館ビル)

TEL 055-952-2942 **FAX** 055-952-2943

月曜日～金曜日 8:30～12:00/13:00～17:00

※土・日・祝日・年末年始はお休みです。

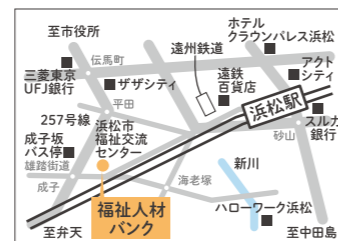


浜松市福祉人材バンク

〒432-8035 静岡県浜松市中区成子町140番地の8
浜松市福祉交流センター 3F

TEL 053-458-9205 **FAX** 053-453-0716

月曜日～金曜日 8:30～17:00 ※土・日・祝日・年末年始はお休みです。



あなたのはたらきが誰かのHELPになる

HELPer

若者
ヘルパー編



Work Together!

静岡ヘルパー募集中

Hello! Good Job!

ヘルパーのお仕事
若者編



景気に左右されにくく
今後さらに必要とされる仕事。
資格取得で、給与アップ、
キャリアアップを!



ヘルパーのお仕事って?

ヘルパー、正式には「訪問介護員」。ちょっと堅いですね。その名前の通り、介護が必要な利用者さんのご自宅へ訪問し、自立支援をサポートするのが仕事です。利用者さんができるだけ住み慣れた地域で自立した生活を送れるよう、身体介護や生活援助をします。利用者さんそれぞれに必要な援助が違うため、計画的に保健や医療の機関と連携し、限られた時間内でサポートを行います。「人のために」がそのまま行動になる、とても素晴らしい仕事です。少しでも興味があれば、見学だけでもしてみてください。きっと「あなたのため」になりますから。

① 身体介護

利用者さんに直接関わる介護のこと。利用者さんが日常的な生活の中で、身体を動かせるように、利用者さんの自立支援・重度化防止のためのサービスです。

- 食事介助 ●清拭・入浴・身体整容 ●体位変換 ●移動・移乗介助、外出介助
- 起床・就寝介助 ●服薬介助 ●見守りの援助 ●排泄介助 など

② 生活援助

利用者さんの日常生活に必要な家事援助のこと。一人暮らしなどで、自ら家事を行うことが困難な利用者さんの自宅生活をサポートします。

- 健康チェック ●一般的な調理・配膳 ●買い物・薬の受け取り ●掃除 ●洗濯
- 環境整備(室温調整・換気等) ●ベッドメイク ●衣類の整理・被服の補修 など

ヘルパーになるには

ヘルパーになるには資格が必要ですが、研修を受ければ得ることができます。研修には二種類あり、「介護職員初任者研修(旧ヘルパー2級)」と「介護職員実務者研修(旧ヘルパー1級)」です。事業所によっては、働きながら研修が受けられる制度があるので、問い合わせてみてください。そして、さらにキャリアアップを目指す人には、国家資格の「介護福祉士」があります。

ヘルパーの現状

高齢化が進む中、ヘルパーの需要はますます高まっています。あなたが活躍する場が、身近なところに。登録ヘルパーは、短時間でもライフスタイルに応じた働き方ができます。

ヘルパーは静岡県に約1万人

約700か所の事業所があります

10代~70代まで幅広い年齢の方が活躍しています

ライフスタイルに合わせて短時間でも働けます

「ちょっとやってみようかな」と思ったら、まずこちらまでご連絡ください! (福)静岡県社会福祉協議会 静岡県社会福祉人材センター 054-271-2110

1Dayサイクル

若者ヘルパーがどういう働き方をしているのか、気になりますよね。そこで、ヘルパーの一般的な1日の流れを紹介しましょう。
*実際は、勤務先や利用者さんの状態で異なります。



8:30

事務所に出勤。本日訪問する利用者さんを確認し、注意事項等をチェック。居宅訪問のための準備を行います。



9:00

利用者Aさん宅を訪問。今日のサービス内容を利用者さんやご家族に説明し、服薬、着替えの補助、お掃除などをします。終わったら、実績確認表をその場で記入。



10:30

買い物をして、利用者Bさん宅を訪問。血圧の測定や検温をし、今日のサービス内容を説明。料理を利用者さんと一緒につくったり、入浴の見守りなどを行います。



12:00

一旦、事務所に戻り昼食。午前の訪問介護の報告、利用者さんの状態を書き留めておきます。



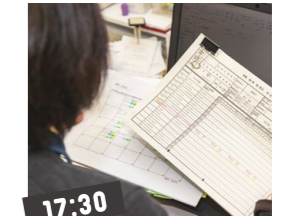
13:00

ベテランヘルパーに同行し、洗髪や足浴、排泄介助などを教えてもらいます。身体介護の中でも、こうしたケアは経験と知識と気配りが特に必要。



16:30

事務所に戻ります。月に1度はヘルパーが集まって業務カンファレンスを実施。利用者さんの状況を共有し、問題点、改善点があれば話し合います。研修を行うことも。



17:30

介護記録を作成し、業務終了。事業所によっては、タブレット端末を活用して外出先から入力もできます。

We can Get Satisfaction

ヘルパーインタビュー
若者編



ヘルパー歴 1年 [30代]



ヘルパー歴 1年 [30代]



ヘルパー歴 6年 [20代]



ヘルパー歴 8年 [40代]



ヘルパー歴 10年 [30代]

その人らしく生活できるよう身近で支える。いっぱい「ありがとう」がうれしい。

吉田町社会福祉協議会 訪問介護事業所
ヘルパー
杉本 有香 さん
出身：静岡市
趣味：マンガ・アニメ鑑賞、ゲーム

社会福祉法人長生会 豊仙苑訪問介護センター
訪問入浴責任者 ヘルパー
花島 良尚 さん
出身：掛川市
趣味：水泳など身体を動かすこと、ロープレなどゲーム

株式会社 アクタガワ ライフケア事業部
ハートフルホーム西奈 サービス提供責任者 管理者
竹貫 彩 さん
出身：静岡市
趣味：犬の散歩、猫と遊ぶこと

株式会社 アクタガワ ライフケア事業部
ハートフルホーム清水銀座 訪問 サービス提供責任者
酒井 あゆみ さん
出身：吉田町
趣味：料理、お菓子づくり

社会福祉法人 牧ノ原やまばと学園
ライフサポートさふらん サービス管理責任者
池ヶ谷 留衣 さん
出身：牧之原市
趣味：洋裁(ヘルパーバッグは自作)、お菓子づくり

わからないことは、利用者さんが、いろいろ教えてくれる。

福祉の大学を出て、知的障害の施設で働いていました。そのあと他の仕事をしていましたが、結婚で吉田町に来て、誘われたこともありヘルパーをやっています。ヘルパーの資格は大学時にとりました。
ヘルパーになって1年経って、やっと慣れてきました。先輩たちがやさしくサポートしてくれるので、助かっています。この仕事は、全部やりきろうとしないことが大事。無理をすると焦って良い結果が出ません。できる範囲でやって、困ったことはすぐに連絡するようにしています。できなかったことは、次のヘルパーさんがカバーしてくれますから。自分の親やおじいちゃんおばあちゃんに近い利用者さんが、いろんなことを教えてくれて助かっています。「また来てね。ありがとう」と言われると、やっぱりうれしいです。利用者さんの笑顔がご褒美ですね。
ヘルパーは利用者さんのお家にお邪魔する仕事なので、その人が今の環境で過ごしやすくするよう務めています。利用者さんの生活時間に合わせてサービスをする感じ。毎回、利用者さんと話をするのが楽しみです。

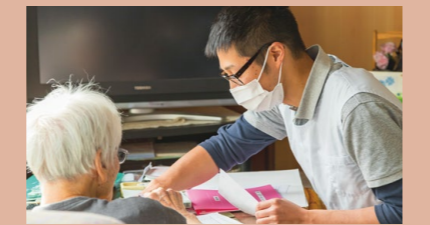
あなたへMessage
利用者さんと笑い合って、一緒に料理を作ったり、教えてもらったりして働けます。働きながら学べるというおトク感があります。私みたいに料理が得意じゃなくても、やりながら覚えられるので大丈夫です。



感謝が直に伝わってくる仕事。男性、女性はあまり関係ない。

30歳手前に転職するとき、興味があった福祉関係の仕事をやってみようと思い入りました。ヘルパーの仕事が良いのは、自分で思いついた声かけや対応がすぐに試せること。反応が直ぐに返ってくるので、成功したかどうかの結果がその場でわかります。声かけをちょっと変えるだけで、嫌がっていたことをやってもらえたり。利用者さんの表情、動きをよく見るのがポイントです。男性がやることに、全く問題ありません。力が必要な支援とかは実は少なく、男性だから、女性だからというのは、あまりありません。食事もつくりやす。普段は練習でつくって、試食して良いものを出すようにしています。時々、インスタントの方がおいしいと言われますが…。それも、自分の次の課題です。
感謝されることが、直に伝わってきます。自分がやってよかったことが、利用者さんの反応で返ってくる。個人で働いているようでいて、実はチームワークが大事。ひとつの仕事に対し、みんなで話し合うことでお互いが向上するし、面白いです。いろんな接し方あって、チャレンジを楽しんでいます。

あなたへMessage
とても楽しい仕事です。とくに若い人は、利用者さんにかわいがってもらえますね。周りの職員のサポートもあるので、興味、関心があれば是非来てください。未経験でも、ぜんぜん問題ありません。



この仕事をしているから 素敵な人たちと出会えた。

この仕事に就いたのは、就職相談会でのこちらの担当者の印象がよかったから。介護の知識や経験はまったくない、やれば何とかなるかという感じでした。
まず施設でトイレ介助、車いす、会話の仕方などを少し学び、それから先輩と同行して訪問介護の現場へ。はじめは生活援助が多く、利用者さんに教わりながら家事をサポート。身体介助が増えてくと、様々な介助の仕方を覚える必要がありますが、利用者さんの協力が得られます。「今日はあなたに来たから、頑張って動いてみようかな」と言われるとうれしいです。1対1の訪問介護では、利用者さんからの求めに対し、直接お手伝いできて、反応もダイレクトです。この仕事でなければ、出会えなかった素敵な方たちばかりで、家族、友だち以外でも信頼関係を築けることを実感しました。
おむつ交換は気が引けるかもしれませんが、でも、いつかは親の介護も考えると、できるものです。今の紙おむつは機能がいいので、そんなに抵抗なくやれます。手際よくできるようになると、おむつ交換も楽しめます。

あなたへMessage
福祉の仕事は我慢強い人の印象がありますが、実際はそんなに我慢することもなし、得られるものの方が多いです。ただ話をするのが好き、手伝いをするのが好きな人なら、長く続けられますよ。



人の大きさを利用者さんに学び、自分もそうあろうと思う。

人と関わることをしたくて調理の仕事に就き、その後グループホームを経て、この仕事に。若い頃、自分の祖父、祖母は岡山にいて普通の関わりが少なく、介護状態になって様子を見にいても、父母は寄り添えるのに、私は寄り添えませんでした。その記憶が鮮明に残っていて、ようやく、あの時とは違う自分になれていると思います。
訪問介護では、利用者さんから一杯やさしい感情をいただきます。戦中、戦後を過ごしている方は、ゆとりを持っているというか、気持ち温かいです。だから、怒っていた方でも、誠心誠意お話しすると、こちらのことを理解し受け入れてくれます。人としての器の広さを学ばせてもらい、自分もそうあろうと思います。
実際に利用者さんの生活を改善できるのがやりがいです。それまでできていたことができなくなると、さらに自信がなくなり、不安から負の連鎖を招いてしまいます。そこで私たちが寄り添い、自立支援をして、できていた自分に近づき生活を維持していく事ができます。そうすることで安心と自信から、自然と笑顔が生まれます。

あなたへMessage
利用者さんと一緒に家事等を行うことで、自分の得るもの大きい仕事です。利用者のみなさんは、私たちが抱えている悩みを乗り越えてきたので、話すだけでいい経験になります。この仕事に向いているのは、人が好きな人ですね。



家に入れてもらえる その信頼に応えていきたい。

高校時代に、ヘルパーの資格を取りました。短大を出てデイサービスに勤めて2年で結婚退社し、こどもが幼稚園に上がるタイミングでママ友に声をかけられてヘルパーになりました。
デイサービスなら、そこに職員がいて何かあれば聞けるけど、訪問は一人なので対処ができるか、利用者さんとうまく会話ができて不安でした。やってみたら会話するのが難しい。先輩に相談すると、もともとお喋りが嫌いな人もいるから無理しないで良いと言われ、気が楽になったのを覚えています。
もう10年経験して慣れてはいますが、想定どおりに行かないこともあります。お宅に行ったら、利用者さんがいない。待っていたらバトカーに乗って帰ってきたり…。いろいろ経験の中で、どの状況でも対応できるようになりました。
利用者さんや、ご家族の方に感謝されるのがやはりうれしいです。そもそも家に入れてもらえることが信頼されているということ。その気持ちに、しっかり仕事で応えていきたいです。何より、仕事が楽しいし、一緒に働く仲間と会うのも楽しい。休みの日は少しさみしいくらいです。

あなたへMessage
自分でハローワークに行ったらヘルパーは選ばなかったかも。それが、たまたまやってみたら楽しくて10年もやっています。やってみてダメだったら別の仕事を探せばいい。そのくらいの気持ちでまず来てください。



利用者さんの声



村松 條司 さん
今まで通り、変わらない日常を送れるのが一番
ヘルパーさんのおかげで、デイサービスに通えるようになりました。家事もできることは自分でやるようになりました。皆さんがいつもやさしく話しかけてくれて、何気ない会話ができるのがうれしい。いつもどおりの変わらない生活をおくれるのが何よりです。



You feel fine!

ピックアップヘルパー
若者編

ヘルパーは、直接人の役に立てる仕事。
元気を与えるつもりが、勇気をもらったり…
今日も利用者さんの
心の扉をノックしています。

株式会社 アクタガワ ライフケア事業部

ハートフルホーム清水銀座 訪問介護担当

花井 敦由奈 さん

出身：静岡市

趣味：映画鑑賞、カラオケ

ヘルパー歴 6年
[20代]



この仕事について理由



私は大学で福祉は学んでいませんし、当初、就職先も福祉系は希望していませんでした。それが、就活時に今の会社に出会い、介護の世界に飛び込んだという感じです。入社した決め手は、地元に貢献できる会社で、直接人の役に立てる仕事だからです。正直、それまで介護のイメージはあまりよくありませんでした。祖父母とは離れて暮らしていて、リアルではなかったし。でも、会社の人たちの人柄がとてよく、何でも相談できる感じがして、私にもできそうに思えました。話を聞いていくうちに、

祖父母だけではなくいずれは親にも必要になってくると考え決めました。今は、入社7年目です。はじめ言われたのが、「下の世話もするけど、大丈夫?」。それに対しては、人間が生きていく上で当たり前のことなので、あまり抵抗がなかったですね。それよりも大変だったのが、利用者さん一人ひとりのことで覚えることが多いこと。その当時は自分が何をしていたのか記憶がないくらい。3ヶ月くらいすると慣れてきて、ようやく覚えられるようになりました。

仕事のやりがい

利用者さんから直接「ありがとう」「あなたが来ると明るくなる」「またきてね」と直接言われることが一番のやりがい。そして、ヘルパーは利用者さんの重度化防止、自立支援のために動いているので、私たちが利用者さんのご自宅に入ること、動いてくれるようになったり、改善されたのがわかると、この仕事の素晴らしさを実感します。うちの利用者さんなどは、部屋が汚れていて何とかしたいと思って自分だけでは難しいです。私たちがサービスに入ること、ヘルパーが来ないときにも自分で掃除をしようと思えるようになります。そのきっかけが、ちょっとしたひと言だったりするので、声かけがとても大事です。

お風呂をいやがっていた認知症の利用者さんが、「今日は寒いから、暖まりたいですよ」と言ったらお風呂に入ってくれたり。でも難しいのは、同じ言葉が明日には響かなかつたりします。あのときはこの言葉に反応したということヘルパー間で情報共有して、何パターンか試して動いていただくと、「やったー」という感じがします。心の扉のどの部分にノックするかを、いつも考えています。たまに先輩と同行すると、利用者さんとのコミュニケーションの取り方がすごく親密で、的確で、自分はまだまだだと少し落ち込んでしまいます。そんなときに利用者さんから、「あなたが来てくれてよかった」と言われると逆に勇気をもらえます。



あなたにとって訪問介護とは

自分の視野を広げることができる仕事です。経験を積んだ先輩たちから学ぶことが多く、人とのコミュニケーションのとり方、効率のよい作業の仕方など、いろいろと吸収することができます。利用者さんは人生の大先輩なので、半生を聞くとこれからの自分の人生の参考にもなることも多いです。人の役に立ちながら、これからの自分に役立つ仕事です。この仕事は辛いイメージがあるかもしれ

ません。私もそう思っていました。でも一歩踏み出してみると自分のスキルアップになるし、利用者さんもいい方が多いので、チャレンジしてみたいです。あと、この仕事のいいところは、景気に左右されないし、将来にも自分のスキルが役に立つこと。ヘルパーからはじめて、訪問だけにこだわらず介護の他の分野にキャリアを広げられることもできます。



私の七つ道具

- ① おにぎり
移動の途中で昼食を取ることも多く、簡単に食べられるおにぎりを持参。おかずがないので、ちょっと大きめにつくりまします。
- ② おかし
訪問の合間にちょっと食べて、元気をチャージします。
- ③ エプロン
利用者宅ですぐにエプロンを着けます。普通のエプロンですが、ちょっとポケットの多いものを用意。
- ④ 文房具
日誌やちょっとしたメモを書いたりします。その他、マジックペンやのりを持っていると何かと便利です。
- ⑤ 小さいノート
買い物の代行に行くときに、商品名を書いたり、気になったことをこまめに書き留めます。
- ⑥ ゴム手袋
お客様の家に必ずあるものではないので、念のため持参。汚れがひどいものを洗うときに使います。
- ⑦ 除菌スプレー
コロナ禍になる前から持って行っています。清潔を保つために使います。

利用者の声



福井 みつ さん [90代]

昨年、私たち夫婦の65回目の結婚記念日に夫は退院。在宅で看取りをすることになり、ヘルパーさんたちが和やかに夫を迎えてくださいました。その翌朝、夫は静かに旅立ちました。みなさまの支えがあり、私も頑張ることができたと思います。